

山名・山域	浅間尾根／東京都・檜原村
山行目的	7月度低山
山行期間	2016年7月2日
参加者	6名

【 ルート、コースタイム 】

JR 五日市線・武蔵五日市駅 8:00→(タクシー)→払沢の滝入口 8:25→8:45 払沢の滝 8:55→払沢の滝入口 9:10
→時坂峠 9:50→10:07 峠の茶屋 10:23→11:30 浅間嶺(昼食)12:10→サル石 13:00→数馬分岐 13:12
→民宿浅間荘 13:35[入浴・反省会]→ (タクシー)→JR 五日市線・武蔵五日市駅

【 山行記録（記録性を重視し、天候、コースの状況・特徴、注意点、必要になった用具など） 】

今回のコースは、以前忘年会山行で行った逆コースになります。武蔵五日市駅に集合し、ジャンボタクシーで、快適に「払沢の滝入口」まで行き、「払沢の滝」を見学して戻って来た所からスタートとなりました。「払沢の滝」は、全長60mほどで、4段になって流れ落ちる滝です。そこでは涼がとれましたが、気温は30度を超え、森の中は体感湿度70、80%といった感じで、蒸し暑い中の山行になりました。この所、天気があまり良くなかっただけに、夏を感じながらのお天気に恵まれた低山になりました。

「時坂峠」までは車道に時折出たりしながら、里山の小道をゆっくりと登って行きました。蒸し暑い中でも、木陰で休憩をとると、下からの風がとても心地よく感じられました。「時坂峠」から「峠の茶屋」までは車道歩き。ここはうどんが美味しいらしいです。ここのベンチで少し長めの休憩をとった後、土、日だけ営業している「お蕎麦屋さん」の前を通った所に、「甲州古道」と木に墨で書かれた標識があり、その道を1時間ほど登って行くと「浅間嶺・展望台」に着きました。忘年会山行ではここには来なかったそうですが、テーブルやベンチがあり、今回は富士山は見えませんが、のんびりお昼食にしました。ここからは下り。途中、「サル石」という、猿が爪でひっかいた跡だと言われる岩の前を通過、「数馬分岐」で小休憩。その後は一気に「民宿浅間荘」まで下って行きました。

「民宿浅間荘」は温泉ではありませんが1人、600円で入れます。当日は男は「檜風呂」、女は「岩風呂」になっていました。南側に「笹尾根」を眺めながら、ゆったりと風呂に浸かって疲れが取れました。自家製の猪の燻製や、コンニャクは、つまみとして最高でした。民宿の方もとても良い人で、気持ちよく過ごせました。帰りは当初バスで駅まで行く予定でしたが、ジャンボタクシーが帰りも空いているとのことで、「民宿浅間荘」まで迎いに来てもらい送ってもらいました。コース的には危ない所もなく、5時間くらいで、天気にも味方してもらい、楽しい山行になったと思います。



